

令和2年4月14日

伊那市長

白鳥 孝 様

伊那市議会議長

黒河内 浩

伊那市危機管理についての提言

近年、毎年のように災害が起き、地震や台風だけでなく、現在感染が拡大している「新型コロナウイルス」など、あらゆる種類の危機に対して取り組みを推進していく必要があります。

昨年の台風19号により、伊那市は人的被害はなかったものの農作物等大きな被害があり、天竜川や三峰川の増水による三六災害のような被害を起こす可能性もありました。

この災害の経験から危機管理の在り方等についての議員研修会を経て、地域住民が安心安全に暮らすために全議員で3分科会に分かれて重要課題を洗い出して議論を重ね、喫緊に対応すべき項目として下記のとおり提言を行います。

なお、すぐに取り掛かることが可能なことにポイントを絞り、多額な予算や時間を要するハードな分野ではなく、ソフトな分野の内容としました。

また、「新型コロナウイルス」等、新たなリスクにも応じた複合的な危機管理についても共に議論を重ねていきたいと考えます。

記

1 地域内のコミュニケーション力の向上

- ・防災リーダーを養成し、隣組レベルの機能的な自主防災組織を構築すること
- ・自主防災組織の役員は、複数年の任期とするなど継続性を持たせること
- ・地域の特徴に応じたよりきめ細やかな災害種類別のマニュアル作りを推進すること

2 情報伝達手段について

- ・できるだけ早急に防災無線のシステム更新を行うこと
- ・災害時住民支え合いマップの組などの小さな単位での作成を財政的な支援を含め行政側の指導力のもと推進すること

3 避難誘導について（避難所のあり方含む）

- ・指定緊急避難場所と指定避難所の違いについて市民への周知徹底を図ること
- ・避難所の安全性について災害別に検証をすること
- ・民間会社の施設を避難所として使用できるような連携協定を検討すること